

興建俱楽部

KOKEN CLUB

2021 Vol.040 秋 季刊情報誌
1年の奇数月に発行 Autumn 9-10月号

発行：株式会社 興建 編集：興建俱楽部制作委員会

編集コラム

コロナ禍のため異例の無観客で開かれた東京オリンピック2020は、日本選手史上最多のメダル数58個を獲得。「Never give up!」のメッセージを幾度も送ってくれ感動した大会でした。参加した205か国のアスリート達に心から「ありがとう」と拍手を送ります。東京パラリンピック多くの感動が生まれると期待しますが、新型コロナ流感の最中無事に成功することを祈ります。弊社も企業集団ワクチン接種により、社員の大半が予防済み。お蔭さまで一人も感染者を出さず仕事に従事できています。気づけば「興建俱楽部」も第40号を迎え、創刊より12年が経っていました。今日では隔月に1回のペースで発行していますがこれもお客様の掲載許可、ご協力があるお陰です。心より感謝を申し上げ、50号を目指しスタッフ一同邁進していきます。

今年も応援します



興建は川崎フロンターレの
オフィシャルスポンサーです



自然な風合いのある木目が美しいフローリング
床は天然木が放つ上品な木目の美しいフローリング。
全室開放すると、一面自然の木の和みを感じさせ
しかもワックスが不要で傷つきにくく
耐久性もあり高級感を演出します。



元は事務所を居住空間に改修
既存の窓位置を活かしながらの
収納たっぷりのプランとなりました。

川崎市優良事業者として市長より表彰される

東住吉小学校等の公共事業施工が高評価対象



川崎市第4庁舎2階ホールにて
福田市長より表彰される小林社長(左側)

1層階のフロアをフルリノベーションしたセカンドハウス

1フロアを開放的にバリアフリー化

鉄骨造4階建ての複合ビルの3階フロア。ビルオーナー様でもあり、経営していた事務所を高齢化に伴い廃業。思い切ってセカンドハウスとしてフルリノベーションすることにしました。1フロアを第二の居住空間として、あるいは将来賃貸として貸しながら収支を得る資産計画が立てられます。

- 建築場所 中原区
- 延床面積 81.80 m²
- 構造 鉄骨造4階建の3階部分

Before 改修前の事務所



After



室内はスライディングドアで仕切られ
開閉によってひとつのフロアが全開放します



収納力で雑多になりやすい小物を整理

住宅は3度建て直して初めて満足のいく空間ができると言われるほど、後悔が残るものが出てきます。ひとつは収納の数。いくらく作っても無駄にならない収納。各場所に用途に応じた収納棚を設置し整理整頓が可能。リノベーションという条件で既存の窓位置は決まっており、形状・大きさを活かしながらのプランでした。しかも街道に面した交通量の多い立地。外部からの騒音を解消するため、カバー工法で既存の窓に新たにサッシを設置。結露・遮音効果を高め満足のいく住宅が竣工しました。

スライディングパーテーションで自由な用途に

オーナ様居宅は4階にありますが、高齢者になって分かる住みやすさの生活空間をご要望。水回りの洗面脱衣室・トイレ・浴室の広さの拡充。収納力の必要さ、キッチン回り等、長年住んで理解する不便さを解消するために、3階をセカンドハウスとして使用することを決めました。車椅子生活も視野に置き、トイレの出入りを3枚引き戸に。洗面室は2.5帖で広さ十分です。



ワンフロア開放型は車椅子の動線に支障が無く、スムーズに行き交うように幅を確保。間仕切り壁を極力なくし、スライディングパーテーションで開閉するようにしました。開放された室内は圧迫感のない心地いい空間となりました。



対象基準となった中原区川崎市東住吉小学校

右側のB棟増築棟を建築

鉄筋コンクリート造3階建て 延床面積：1,925.49m²

工期：令和元年12月～令和3年2月竣工



昭和25年創立の川崎市東住吉小学校

